

## 令和7年度第2回 市民公益活動サポートセンター運営協議会会議録（要録）

日時：令和8年2月19日（木）午後1時30分～2時30分

会場：シルバー人材センターワークプラザ2階会議室

出席委員：山岡委員長、山口委員、山城委員、斉藤委員、  
平川委員、藤崎委員、竹川委員、古賀委員

（欠席）：牧野副委員長、立崎委員

事務局職員：鴨志田所長（自治人権推進課長）、宮田副主幹、檜垣主査補、  
富里主任主事

### 1 開会

午後1時30分 開会

### 2 所長あいさつ

市民公益活動サポートセンター所長あいさつの後、事務局職員の紹介。

この後の議事運営は委員長にお願いする。

### 3 【議題】

#### 【委員長】

委員長挨拶。

本会開催にあたり、佐倉市市民公益活動サポートセンターの管理及び運営に関する規則第14条第2項に、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない」と定められている。本日は、定数10名のところ8名の委員が出席しており、会議が成立している。

また、今回の会議の会議録の確認を行うのは、委員長の他、A委員にお願いいたします。

（傍聴人無）

### 3 【議題】 ①令和7年度事業報告について

#### 【委員長】

議題①令和7年度事業報告について、事務局に説明を求める。

(事務局から、資料①令和7年度市民公益活動サポートセンター事業報告に基づき説明)

**【委員長】**

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

**【B委員】**

市民活動発表会 2025 は中央公民館で行ったが、やりやすい・集まりやすいと感じた。ただ、参加団体が多くスペースが狭かった感想もあったが、来てくれた方も非常に多く、活気ある会だった。来年は志津ですね。

**【委員長】**

会場については、市全体をカバーする意味でも2ヶ所で行うのもいいと思います。

**【C委員】**

市民活動発表会は活気があり、各ブースもとてもためになった。スタンプラリーも各ブースを回るので良い方法かなと感じた。飲食できるスペースもあり、いい方向に向かっていくと考えます。

**【D委員】**

⑫アンケート調査の説明で、大学との連携調査について詳しく説明を願う。

→ **【事務局】**

市と連携協定している大学との協働活動を企画し、登録団体がどんなことを求めているか把握し、大学生との希望がマッチングしたら、協働活動を実施できるか企画を行う予定です。

**【D委員】**

団体で大学生に活動協力をお願いしたいことを、サポセンに報告すればいいですか。

→ **【事務局】**

今後、ニーズ把握のためにアンケート調査を行います。

**【A委員】**

大学は学部とかは問わないのか。だれがアンケートをとりまとめるのか。

→ **【事務局】**

学部は問いません。大学自体と協定を結んでいて、ボランティア担当の方が

取りまとめます。

**【A委員】**

グループも高齢化していて、若い人たちが欲しいが、何名来てくれるのか、どれだけ興味を持って来てくれるのか分からない。

→ **【事務局】**

まず、登録団体を対象に調査をしてニーズ把握し、大学とのマッチングを行っていく。

**【委員長】**

大学生は住居地も遠く難しいかと思う。高校生との連携も進めていただきたい。

→ **【事務局】**

市内高校とも連携協定活動を行っています。

**【D委員】**

先日、サポセンチャンネル YouTube 動画撮影に来てもらい、活動を撮影していただいた。動画のアップがすごく楽しみです。

→ **【事務局】**

明日、アップされる予定です。

**3 【議題】 ②令和8年度事業計画について**

**【委員長】**

議題②令和8年度事業計画について、事務局に説明を求める。

(事務局から、資料②令和8年度市民公益活動サポートセンター事業計画(案)に基づき説明)

**【委員長】**

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

**【A委員】**

ポスター展はどのくらい効果が出ているのか。結果はどのように管理しているのか。

→ **【事務局】**

お問い合わせ等がありますが、数値化などの把握はできていません。

**【E委員】**

来年度の市民活動発表会は志津コミュニティセンターですが、全館借りの予定ですか。また、指定管理になりますか使用勝手は変わりますか。

→【事務局】

全館です。使用は基本的には同じです。会場は予約済で特に問題はない。

**【F委員】**

今年度、協働のまちづくり講演会があり参加し、大変よかったが参加者も少し年配の方が多かった。令和8年度の計画はないようですが、若い人を集められるような講座、講演会を積極的に検討していただきたい。

**【委員長】**

私も常々実感しており、講演会は平日ではなく、土・日ですと若い方が来てくださる。その点も取り入れて少し工夫していただきたい。

→【事務局】

計画案には講演会予定は入っていないが、できれば実施を考えている。その場合は土・日開催や若い人も集まれるような形で検討します。

**【D委員】**

講演会で、当日都合により行けない場合にオンラインやZoomなどで後日配信などがあればと思う。

**【G委員】**

できれば事業の報告書を目的や結果まで書いていただくと、目的達成なのか未達成が見えるのでうれしい。来年度に実施していただければ、スムーズな会議になるのかなとは思っている。

**【D委員】**

計画の中にはないが、大学との協働活動のアンケートはいつ行うのか。

→【事務局】

登録団体へのアンケートは今年度中に実施。アンケートを集計し事業を検討します。

**3【議題】③その他**

**【委員長】**

議題③その他ですが、資料③について、事務局に説明を求める。

(事務局から、資料③市民公益活動団体登録要件(会員数)の協議に基づき説明。  
内容は構成員・会員名簿10人以上を5人以上に変更することへの意見)

**【委員長】**

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

**【A委員】**

活動の内容にもよると思うが、老人施設の見守りの場合は20名以上必要なので、10人以上でもいいかなと思う。

**【委員長】**

10人以上でないと団体登録は出来ない状況にあるということですよ。

→ **【事務局】**

現在は登録できない状況です。

**【G委員】**

どういう団体に登録してもらいたいのか。

→ **【事務局】**

市民公益活動を行う団体です。

**【G委員】**

始めのときに集めるのは辛いと思うので、団体が成熟して登録のようにも見受けられてしまう。数人集まって始めるのはバックボーンがある方がやりやすいと思うので、ハードルを下げてもいいかと思う。

**【D委員】**

この10人は多分NPOとなるには10人が必要とのことだが、NPOと同じくやれるところはなかなかない。

新規でやりたい人達が集まって、登録して活動するためには、もう少しハードルが下がって楽しく活動ができることがいいと思う。保険にも入れ、安心して活動できるのはすごくありがたく登録する意義はあると思う。

また、場所によってはスタートアップ補助金もあり、活動を始める団体に補助、助成金を出すこともあり、少しでも活動を始めやすくするようなものがあればいいのかなと思います。

**【B委員】**

1人で認めるのは問題が起こる。やはり5人は妥当と思う。

→ **【事務局】**

人数やその他の要件も検討します。

**【委員長】**

本日の議題に限らず、市民公益活動に関連することで、ご意見やご質問等があれば、ご発言いただきたい。

**【D委員】**

どこでも担い手不足があり活動がなくなる、若い人の参加が課題と思う。

また、全体交流会の発表会ですが、団体同士が交流する機会が少ないと思う。

→ **【事務局】**

各団体が集まるので皆さんに交流して頂きたい。若い人の参加については、なかなか難しいが大学生のマーケティングとか、市内の高校生との連携としてやっていきたいと思います。

**【A委員】**

全体交流会に、高校生のブースがあったらいいと思う。福祉のお手伝いに結構来る人がいる。ぜひ連携を深めていきたい。

**【B委員】**

個人的には大学生だと思う。ある程度時間があり目的がはっきりしている。大学は授業枠で単位がもらえる場合は、非常に熱心。地域としては高校生が良いと思う。

**【委員長】**

本日の議事は終了。委員の協力に感謝。進行を事務局にお返りする。

**4 閉会**

**【事務局】**

以上で、令和7年度第2回運営協議会を終了。

委員の皆様には2年間の任期中、貴重なご意見をいただき、改めて感謝申し上げます。

(以上終了)